



循環型経済のソリューション 持続可能な経済循環によって価値を創出する



ミーリン・ゴー
ESG投資ヘッド

2022年5月

“循環型経済へと移行する企業に積極的に資産配分すると、結果的には社会にポジティブなインパクトとなり、市場リターンを上回る成果の獲得余地があるでしょう。”

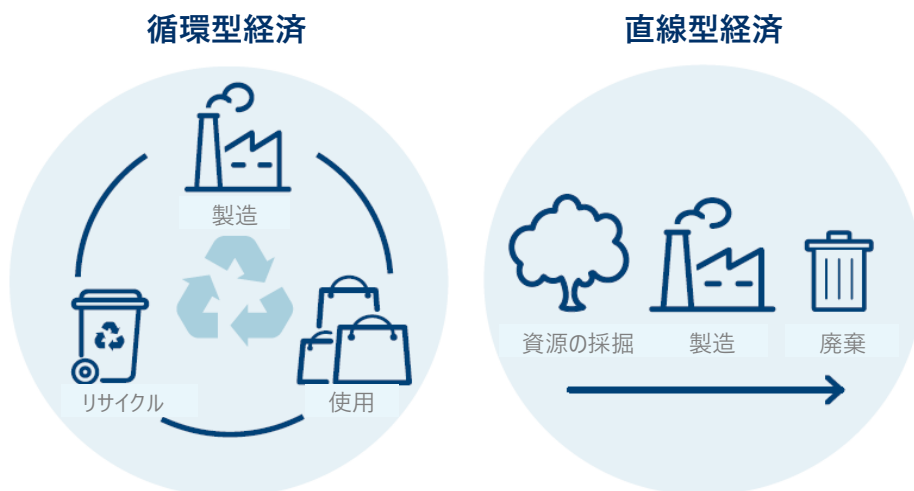
有意義な循環型経済

持続可能なビジネスを行う企業への投資が浸透するにつれて、従来にも増して、持続可能な消費を促すことへの投資業界へのプレッシャーが高まっています。気候変動、生物多様性の喪失、環境汚染の問題はますます深刻になり、自然環境を保護する必要性が増しているためです。このような背景により環境問題はシステムックになり、金融市場、経済、社会にも影響を及ぼし始めています。

直線型から循環型の経済へ

「資源を採掘-製造-廃棄」という従来までの直線型経済とは対照的に、循環型経済は、資源が再生可能となるようにデザインされており、自然環境の汚染を伴い兼ねない限りある資源の消費と、経済成長とを段階的に切り離すことを目的としています。

循環型経済の概念は、現状の日常生活で主流となっている物を捨てるという習慣をやめ、思考を柔軟にする必要性に根ざしたものです。その概念を日常生活に取り入れれば、ビジネス、社会、環境は改善し、経済成長のためにも効果的でシステムックなアプローチとなるでしょう。



削減、再利用、再生...

循環型経済のアプローチを取ると、商品の運用プロセスだけではなく、商品の製造過程にも注目することとなるでしょう。投資業界では、企業の運用プロセスと製造過程の双方に積極的に働きかけてきました。たとえば直近の数年間では、消費財の中でも使い捨てプラスチックやパッケージなどに世間の関心が高まる中、廃棄物の管理に着目してきました。

海の魚や森林などの「自然資本」を、地球上の私たちがどのように管理して配慮しなければならないのかという努力が、ますます重要になっています。プロセスの効率性の改善、すなわち「より少ないものから、より多くを達成する」ということが大きなテーマとなり、エネルギー効率などの取り組みにも表われています。

目的のある投資

投資家の努力には2段階の目的があります。第一に、投資家は（投資という選択もしくはエンゲージメントを通じて）ビジネスモデルの代替案を考慮するよう企業に働きかけることです。第二に、環境問題に関するプロアクティブかつ戦略的な包括的アプローチにより、企業が競争優位性を獲得できることを強調することです。そしてもし企業が環境問題に適応するための変化を拒めば、同業他社に後れを取るリスクがあることを指摘することも出来ます。

このことは、特に近年規制が強化される上で重要となっており、規制当局は廃棄物とリサイクルの取り扱いに関する目標値を導入したり、有害な慣行を阻害する製品に課税したり、さらに奨励したい慣習を促すためにインセンティブを導入したりしています。

プラスチックによる野生生物への有害な影響が一般の人々から指摘されているように、特にミレニアル世代の意見が強くなる中で、消費者と社会が更なるカタリストとなっています。ミレニアル世代は前世代よりも持続可能性についての関心度が特に高く、社会への影響を配慮した消費者の慣習を取り入れる意欲を強く持っています。

まとめると、循環型経済への投資は、環境面でも、経済的にも理にかなっていると言えるでしょう。そして企業や投資家、消費者は、このような革新的、長期的かつ持続可能なモデルから恩恵を受けることでしょう。

ブルーベイの循環型経済への投資



2021年5月に運用を開始したブルーベイ・インパクト・アラインド債券戦略では、持続可能性やテーマ性のあるパブリック債券と、将来の課題に取り組み、独自の価値を創出するような「ソリューション・プロバイダー」となる企業や発行体の債券に投資しています。

地球規模での持続可能性の課題に取り組む経験豊富なESGスペシャリストが、人々と地球の持続性に着目した7つのテーマに沿って投資を行っています。そのテーマの一つが「循環型経済」です。廃棄物処理や環境汚染の解決に取り組んだり、製品や材料の保持に努める企業、さらに自然環境システムのスチュワード・シップを促進する企業や発行体への投資を積極的に行っています。

その下にサブ・テーマが存在し、以下のような広範なトピックを網羅しています。

- エネルギーや資源利用の効率化
- 環境に優しい製品
- 汚染コントロール
- 持続可能な農業及び食物
- 持続可能な森林、土地、海洋管理
- 廃棄物管理、リサイクル

当戦略では、リサイクル可能もしくはリサイクルされた材料を利用した商品の製造を行う企業や、製造プロセスにおいてエネルギーまたは資源効率の向上を目指す企業、また持続可能な廃棄物の管理を推進する企業に着目しています。

“循環型経済によって、廃棄物が売上源泉となり、ミレニアル世代や将来世代が納得するような革新的なサービスや製品が創造されるチャンスがもたらされるでしょう。”

ディスクレームー

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1029号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下ようになります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることとなります。

ロング・オンリー戦略					オルタナティブ戦略		
(年率、税抜き)					(年率、税抜き)		
投資対象	投資適格債	エマーシング債	レバレッジド・ファイナンス	転換社債	運用戦略	トータル・リターン	絶対リターン
運用管理報酬 (上限)	0.40%	0.70%	0.70%	0.65%	運用管理報酬 (料率範囲)	0.50% - 1.10%	0.90% - 1.35%
					成功報酬 (料率範囲)	0.00% - 20.0%	0.00% - 20.0%

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク

為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではございませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡しますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上



Global Asset Management
BlueBay Asset Management